

第30回 総務文教常任委員会

R8.4.14 (火)10:00～

第二・第三委員会室

開 会 9:55

委員長 定刻前ではございますが、皆さんおそろいですので、ただいまから第30回総務文教常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 委員動静ですが、委員については全員出席をいただいております。議長、副議長に出席をいただいております。傍聴については、田村議員が傍聴しております。報道については、本日は今のところございません。それでは、ここで4月1日付人事異動に伴う職員紹介をいたしますので、暫時休憩をいたします。

休 憩 9:55

再 開 10:03

委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

1 所管からの報告事項について

委員長 1、所管からの報告事項について、総務部、(1)について説明を求めます。

(1) 國學院大學北海道短期大学部令和8年度入学状況について

安樂室長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

福 井 私のほうから先ほど説明があった幼児・児童教育学科の定員割れについて、定員充足率向上に対する施策について1つお伺いします。

昨年我々の新政会のほうで國學院本校に行った折、理事長をはじめとした理事会の皆さんとの懇談の中で、滝川市の協力もあって全体の定員を上回ることが多くなり、大変ありがたい反面、幼児・児童教育学科の生徒獲得に苦慮しているとのことでした。これは全国的に同じような傾向にあるということは理解はしておるのですが、滝川市として特に幼児保育コースに対する生徒獲得について何か特別な対策をさらに打つ考えがあるのかお伺いします。

もう一点、保育士、幼稚園教諭の育成は市の子育て施策に大きく関わると考えますので、市の今の現状把握についても併せて教えてください。

安樂室長 まず、幼児・児童教育学科の特に幼児保育コースの定員確保が大変厳しいというところで今後の市としてどのような考えがあるかというところでございますけれども、その実態につきましてはこれまでも実際に幼児保育コースというところの獲得に向けては特別な課題と認識してございまして、入学というところでは先ほど申し上げた西校向けの特別奨励金ですとか、滝川市民の入学応援金といったものに取り組んでいたり、また出口の部分で短大と連携した中で市内の幼稚園ですとか保育所に専門職として就職される方への就職応援金というものも設置して、そういった後押しをしてきているというような経過もございます。ただ、それだけではなかなかこういった数字に結びついていないというところも現実としてございますので、令和8年度については今まさに地域と短大がともに歩む今後の魅力化に向けた共創のまちづくりプランというものも計画できればということを進めているところでございます。そういった中で滝川市ですとか近隣の中空知等ともどういった連携をしていけるのかということを検

討して、計画等の中に必要に応じていろいろ盛り込んでいきたいというふうに考えているところでございます。

高嶋課長

福井委員からのご質問の2つ目、市の子育て施策の状況把握というところですが、まずは今重点施策である子育て施策、これとの連動は必須であると考えておりますので、現時点具体的な施策というところまでには至っておりませんが、健康こども未来部とも協議も重ねながら、あとは社会福祉事業団とも現状、ニーズの把握も図りながら、施策の検討を進めてまいりたいというふうに考えております。

委員長

ほかに質疑ありますか。

副委員長

現状國學院大学の短期大学部なのですが、ごめんなさい、僕全然分からないのですが、部活動とかはどのような状況で行われているのかちょっとお伺いしたいなと思ひまして、1点お願いします。

安樂室長

すみません。今詳細に部活動自体が何部あるですとか、そういったところの状況をお伝えすることは難しいのですが、実際に例えばバスケットボール部といったような運動部の活動ですとか、音楽関係のサークル活動のようなものですか、あとは皆さんラジオ等でお聞きになっていることもあるかもしれないのですが、ニュースキャティというような取組でエフエムG' Skyで番組を持っていて活動されていたりですとか、スポーツ分野、文化活動分野問わずいろいろなサークルが展開されているというふうに認識しているところでございます。

副委員長

マラソンのことに関してちょっとお伺いしたいのですが、例えば滝川に入学されて、編入して國學院の本校に行ってマラソンをしている方はいらっしゃるのですか。

安樂室長

陸上競技、特にマラソン、駅伝の部分でのご質問というふうに受け止めさせていただきましたけれども、実際東京の國學院大学の陸上競技部、駅伝チームにつきましては、箱根駅伝での優勝を目指す全国でもトップクラスのチーム編成となっております。そういったこともございまして、当然ながら1年生の段階から本学のほうに入学して、監督の指導の下、しっかりとトレーニングをされてそういったところを目指されているという環境もございまして、なかなか北海道短期大学部から今現在2年間でそういった練習をして本学のほうにながっていくというような実績はないような形になってございます。

委員長

ほかに質疑ございますか。

藤 田

入学の方法についてお伺いしたいのですが、恐らく指定校推薦の枠は多分全国の高校だったりとかに枠を与えていると思うのですが、その中で比率として、例えば100校に指定校出していて50人来ているとかという比率を何か把握しているとか、指定校推薦の枠を配分していることの効果が出ているのかというのをちょっと確認したいのですが、数字で把握している部分があれば教えていただきたいです。

安樂室長

指定校推薦の枠ということなのですが、それにつきましては國學院大学北海道短期大学部様と高校様の中でのお話ということで、詳細な部分というところではご公表しかねるところもあってお伝えできない部分なのですが、実際に学生獲得に向けては特にやはり指定校ですとか、特別指定校のような枠をしっかりと高校と連携しながら確保して、そこからしっかりと学生を送り出していただくというところに短大の学生募集活動としては注力しているとい

- 委員 長 うふうに伺ってございます。
ほかにありますか。
- (なしの声あり)
- 委員 長 ないようですので、(1)については報告済みといたします。
ここで所管の入替えをしますので、暫時休憩いたします。
- 休 憩 10:16
再 開 10:17
- 委員 長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。
次、教育部、(2)について説明を求めます。
- (2) 第2期後期滝川市小・中学校適正配置計画(案)について**
(別紙資料に基づき説明する。)
- 山口課長補佐 説明が終わりました。
委員 長 質疑ございますか。
- 関 藤 1点だけ。
統廃合やむなしと私も思いますけれども、江部乙小学校のほうについては、例えば特認校制度という制度はかなり難しいと私も思います。そこで、これが統廃合となって江部乙小学校がなくなるとそのまま廃校としてしまうのか、それとも特認校ではなくて新たな教育事業についての活用法というのがないのか、小学校について。ただ廃校にしてしまうのではなくて、何かの活用の仕方、例えば部活なんかは今社会教育というか、学校外に移行されていていっているわけですから、そういったところで廃校としてしまうのではなくて、教育事業に関する何か今後の活用というのは考えられているのかお伺いします。
- 横田課長 今具体的に廃校後の、廃校になった場合の活用方法というのは具体的な検討には至っていないのですが、今関藤委員がおっしゃられたとおり、部活動の地域展開が進んでいる中で、活動の場というのはやはりある程度確保しなければいけない課題だなというふうにも思っておりますので、今後適正配置計画が成案になりましたら引き続きそれぞれの校舎の利活用をどのようにしていくかというのは継続して検討していきたいというふうに思っております。
- 委員 長 ほかに質疑ございますか。
高 橋 1点だけ質問させていただきたいのですけれども、隣の砂川市では大規模な統廃合が行われたばかりなのですけれども、そちらも参考にしながら今後進めていきたいのかということと、統廃合をした市民の方からの意見で砂川の不登校のお子さんが大規模過ぎて学校に通いづらくなったというお話も私は聞き及んでいます。こちらの意見の10ページのその他の意見に不登校の子が増えていてということも本市で書かれているのですけれども、実際に不登校の児童生徒数というのはどのように推移していて、統廃合後も今後の対策について考えられているのか、その辺について伺いたいと思います。
- 横田課長 まず、砂川市を参考にというご意見だったかと思いますが、それぞれ学校の適正配置については自治体によって方針というのが違うと思うのですけれども、滝川市においては小学校と中学校を連携しながら義務教育をしっかりと学ばせていくという方針の中で、児童数もまだ1,000人以上いる中で、通学の負担等を考えたときにはある程度今のまま小学校、中学校を残して今後も適正配置を進めていくという考えでございます。
- それと、不登校児の傾向というのは確かに若干増加傾向にあるというふうに把

握をしておりますが、不登校については今までどおり、それぞれ早い段階で対策を打ちながら対応していくという考えでございます。

委員長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

ないようですので、(2)については報告済みといたします。
次、(3)について説明を求めます。

(3) 新滝川市B&G海洋センターのオープンについて

鎌塚所長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

高橋

質疑ございますか。

鎌塚所長

こちらは水辺なので、万が一の水難事故ですとか不慮のけが等に関して救助体制や安全対策が今どようになっているのかということと、また台風など予測できる天候状況に対して一時利用停止などということ誰かが判断すると思うのですが、それをどのように周知したりするのかということについて伺います。ただいま高橋委員からご質問いただきました。特に水辺ということで、これまでも海洋センター、カヌー等の川のプログラムも指定管理の中で実施しておりますので、当然そういう事故に対する対策というのはしてまいりましたし、これからはしていきますので、そこは直営の部分の分野ではないですけれども、指定管理が中心になって海洋性プログラム、水上スポーツの部分についてはしっかりと安全対策も継続的に行いながら実施はしてまいりますし、当然我々も新たな施設で協働して運営をしていくというところがありますので、水辺だけの事故にかかわらず、公園含めて施設内の事故を含めてしっかりと職員が安全管理も行いながら日常の運営を進めていきたいと思っておりますし、当然救命の措置としてAEDはもちろん、そういった施設の整備も設置していく中で進めていきたいというふうに思っています。

気候の問題につきましては、当然屋外、今お話のあるカヌーとか水上スポーツ、または公園に関しては、台風とかが来たら危険性が高まりますので、そうなれば使用中止などの周知をしながら、使えないような環境ということをしかりしていくことは当然ながら、施設に関しては、気象の状況にもよりますけれども、天候に左右されず施設は年間利用できるというメリットを生かしながら、屋外で活動できない場合はしっかりと施設内で年間ご利用いただけるように、楽しく学べる環境を提供できるように、そういった環境もしっかりと提供していきたいと思っております。大きな台風、災害級になれば当然施設は全面的に閉めますけれども、その辺はしっかりと予報も含めて管理を進めながら、施設の運営を併せて進めていきたいというふうに思っております。

委員長

ほかに質疑ございますか。

副委員長

飲食関係はどうなっていますか。場所的になさそうには見えるのですが、1点お願いいたします。そこだけです。

鎌塚所長

ただいまのご質問の飲食の関係ということで、お配りしている配置図も見ていただいで分かるように、食堂とか、そういう提供するような環境はございません。5月9日のオープニングに関しては、それはイベントということでキッチンカーの参加などはございますが、日常的な運営として食事を提供するような環境はありませんので、エリアの連携ということでいえばふれ愛の里などもご利用いただいでお昼を過ごしていただくなど、そういった利用者、入館者に情

報発信して地域環境の連携で進めていければなと思いますし、団体利用や学校とかよくあるのですけれども、お弁当を持ってきてこれまでも施設、カヌーとか利用しているのですけれども、外の緑地帯でシートを敷いて、ピクニック形式ですね、分かりやすく言えば。そういったふうにお弁当を食べてカヌーを利用するとかというのは今までもしていますので、持参した食事を屋外なり、中でテーブル、椅子もありますので、そういう環境を提供することは可能ですけれども、飲食を提供するという環境はございませんので、そのようにご理解いただければと思います。

なお、飲物に関しては自動販売機の設置は予定しております。

委員 長
福 井

ほかに質疑ございますか。

私のほうからも1点。

オープニングセレモニー、先ほど鎌塚所長がおっしゃった、イベントをすることなのですけれども、イベント会場としてどのように運用していくのか、例えば市のイベントのワインフェスタのようなものをする会場になり得るのか、またそれ以外、民間の方の事業所のイベント会場として貸してほしいという要望があったらどのような対応をするのか確認させてください。

鎌塚所長

ただいまの福井委員からのほかの公共イベントや民間イベントの活用という視点では、今のところそういった計画は考えていません。まずは施設のイベント、海洋性スポーツであったり、キッズラボという2階のイベントを敷地全体で展開するという事は、オープニング以降も屋外の敷地も含めてそういったイベントを季節に応じて設定していく、大きなイベントは考えてはいますが、外の団体が利用されてイベントをするというような敷地の貸出しというような環境は、まだ今のところそこまでの検討は至っていません。まず、自分たちの施設をしっかりと展開するというところで考えています。ただ、先ほどちょっと触れましたけれども、西滝川エリアとしてふれ愛の里が隣接していますし、当然含んでいるキャンプ場もありますし、今言ったB&Gあそりバという新しい環境もありますので、周辺環境の連携したイベントというのは当然考えられていきますので、そういったコラボ的なイベントは実施していきたいなと思っておりますが、具体的な今の段階でこれをやりますということは決まっておりませんが、そのような形で進めていきたいなというふうに思っています。

委員 長
好 川

ほかに質疑ございますか。

駐車場の関係なのですけれども、交通の関係についてはバス等が通らないということをもともとと言われていましたけれども、これは駐車場40台というような書き方をしておりますけれども、この程度の駐車場で間に合うという考え方なのか。

もう一点、これ冬はスケートリンク場になるというような読み方をさせてもらいましたけれども、冬の駐車場がないという言い方はおかしいですけれども、この辺の考え方はどうなのでしょう。

鎌塚所長

ただいまの駐車場の関係ですが、確かに皆様に今お配りしたデータ、あと資料の中で駐車場の図面がちょっと欠けていますが、今でも既存の水上公園駐車場というのが、道路に面して約100から110台ぐらい止められるというエリアがありますので、まずそこが一つメインの駐車場になっております。皆さんにお配りした図面については、これから造る駐車場なので、ある意味駐車場を増設するというような形になります。ですので、冬期間アイススケートにした場合で

も従来の水上公園駐車場を使うことは可能になっております。
また、オープニングもそうですが、イベント等で台数が増えることが見込まれる場合は、先ほど来お話をさせていただいていますように、ふれ愛の里のご協力をいただきながら、地域の連携で対応していきたいというふうに思っております。

委員長 ほかにごございますか。

(なしの声あり)

委員長 ないようですので、(3)については報告済みといたします。
所管については退室願います。

2 その他について

委員長 それでは、大きな2番、その他について委員の皆さんのほうから何かございますか。

(なしの声あり)

委員長 事務局は。

(なしの声あり)

委員長 では、私のほうから1点、総務文教常任委員会として7月もしくは8月ぐらいに市内のPTAの方たちとまた懇談会をやりたいなというふうに考えています。題材のほうについては私のほうで副委員長と相談しながら、決めながらやっていきたいなというふうに考えていますので、内容が詰まっていったらまた委員の皆さんにお知らせして、ご検討願って、それで実施をしたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

3 次回委員会の日程について

委員長 それでは、大きな3番、次回委員会の日程については正副委員長ご一任でよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長 そのようにいたします。

それでは、以上で第30回総務文教常任委員会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

閉 会 10:52

令和8年4月9日

滝川市議会議長 山本正信様

滝川市長 前田康吉
滝川市教育委員会教育長 田中嘉樹

総務文教常任委員会への説明員の出席について

令和8年4月1日付け滝議第5号にて通知がありました第30回総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部長	稲井健二
総務部企画課長	高嶋秀治
総務部企画課大学連携室長	安樂良太
総務部企画課係長	西島建志

滝川市教育委員会教育長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部長	諏佐孝
教育部次長	運上琢論
教育部新しい学校づくり推進課長	横田和典
教育部新しい学校づくり推進課課長補佐	山口祥弘
教育部新しい学校づくり推進課主任主事	三浦雷大
教育部新しい学校づくり推進課主任級主事	渡辺和慈
教育部社会教育課海洋センター所長	鎌塚誠

(総務部総務課法制文書係)

第30回 総務文教常任委員会

日 時 令和8年4月14日(火)
午前10時00分
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

○ 休憩～4月1日付け人事異動に伴う職員紹介

1 所管からの報告事項について（◎印は議案関連）

《総務部》

（1） 國學院大學北海道短期大学部令和8年度入学状況について

（資料） 企画課大学連携室

《教育部》

（2） 第2期後期 滝川市小・中学校適正配置計画（案）について

（資料） 新しい学校づくり推進課

（3） 新滝川市B&G海洋センターのオープンについて

（資料） 社会教育課 海洋センター

（終了後、所管及び報道各社の退室）

2 その他について

3 次回委員会の日程について

○ 閉 会